

## 2-（2）比布ルート of 名称、今後の検討課題について

比布ルートの名称の候補として、「びびの路（みち）」があがりました。地元からは比布町の由来となったアイヌ語を取り入れたいという希望でした。

「びび」はアイヌ語で「石の多いところ」と言われています。

今年の5月を開通予定としています。

### ■検討内容

#### ●ひらがな表記について

「びびのみち」と区切りなく読めてしまう点から、「ピピの路」への変更が見直されました。しかし、比布町にある施設はひらがな表記で統一されているので、ひらがなが好ましいということです。

#### ●「みち」の漢字について

もし、「路」を使うことになった場合は、現行の「木もれびの道」もこれに合わせて変更する必要があるでしょう。

ルートの幅が大きい順に「道」>「路」>「径」という使い分けがあります。ガイドマップ等に表記したときに読みやすいことも考慮する必要があります。

#### ●仮看板について

デザイン、制作は事務局が行い、それにかかる費用は町が負担します。入山口前の崖や、砂利採掘場との境界に落下防止を意味するトドマツの丸太を設置します。

#### ●道付けについて

道の確定、草刈り等の日程調整。比布側では町広報誌なので呼びかけ、町民参加型での作業を予定しています。

